

令和元年度 夏休み期間中における幼児運賃無料化の実証実験について

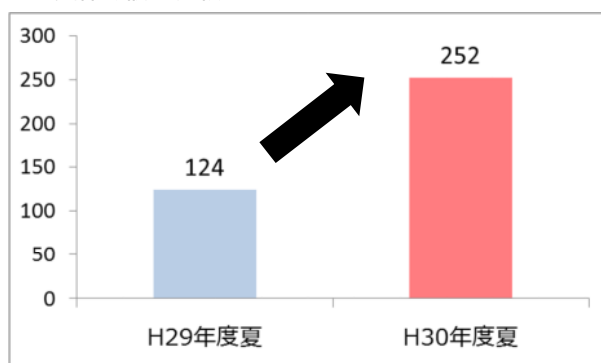
バス利用促進策の一環として、平成 29 年度、平成 30 年度の夏休み・冬休み期間において、小学校入学前の児童を対象に運賃無料化の実証実験を実施し、一定の効果を見込めたことから、今年度の夏休み期間においても実証実験を行うこととしたい。

1 目的

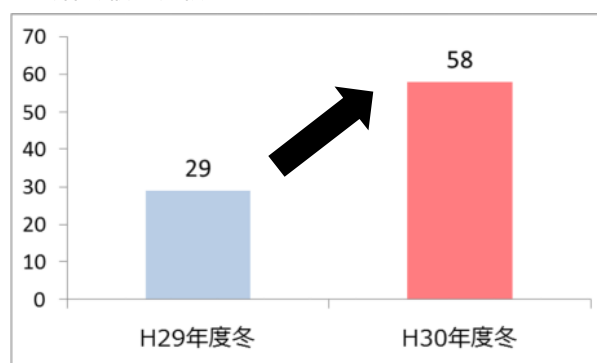
- ・小さい頃からバスに慣れ親しんでもらう 将来の“お客様”になり得る
- ・幼児運賃の無料化により大人（保護者）のバス利用を促し、増収に寄与する
- ・新千歳空港などのエンターテインメント施設（遊戯施設）における駐車場の混雑緩和に寄与する

2 これまでの実証結果

<夏休み調査比較>



<冬休み調査比較>



夏休み、冬休みともに約 2 倍の利用となり、幼児運賃無料化の取組は浸透しつつある。

3 実証実験の内容

現行のバス運賃制度のもとでは、保護者が幼児を同伴する場合、1 人までは無料、2 人以上の場合は 2 人目から「子ども運賃」適用となるが、同伴する幼児が何人でもすべて無料とする。なお、幼児が 1 人で乗車する場合も「子ども運賃」が適用となるが、この場合も無料とする。

4 実施期間

幼稚園などの夏休み期間を考慮し、令和元年 7 月 20 日（土）から令和元年 8 月 25 日（日）までの 37 日間。

5 その他（PR）

本協議会で承認が得られ、監督官庁への届出が終了次第、子ども関連施設やバス車内での PR などを通して周知することとしたい。